

NO9 弘仁・貞観文化

弘仁・貞観文化の POINT

弘仁は→嵯峨 天皇のこと、貞観は→清和 天皇のこと

最澄と空海その影響力からして絶対出題される。また、天台宗・真言宗が広まることで、密教がさかんとなったので、**密教に関する用語も頻出される。**芸術では、密教の流行を繁栄して密教美術が中心となるが、この時代に生まれた**彫刻の新技法**にも注意を要する。その他では、**神仏習合、三筆**などがポイント。

NO69 平安時代の仏教 2012 本

平安時代に入ると、中央政府のなかで、中国の姿に近づこうとする動きがさらに強まった。9世紀前半の嵯峨天皇のころには、文芸によって国家の興隆を目指そうとする中国の思想が広まり、【ウ】などの勅撰漢詩文集が編まれた。このころ、律令制定後に出された法令を分類・編集して最初の【エ】が編まれたが、律令と【エ】をあわせもつこともまた、中国にならったことであった。

問 空欄【ウ】【エ】に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウ 凌雲集 エ 国史 ② ウ 凌雲集 エ 格式
- ③ ウ 風土記 エ 国史 ④ ウ 風土記 エ 格式

正解→②。凌雲集は嵯峨天皇の時代に編纂された最初の勅撰漢詩文集。

NO70 東アジア諸国変動の時期 2012 本

だが地方社会では、すでに律令体制の根幹がくずれはじめていた。たとえば、浮浪したり逃亡したりする者や、課税を逃れようとする偽籍も多くなっていた。やがて郡司が政務を行う郡家(郡衙)のあり方にも変化が生じ、郡司の役割が変化したことをうかがわせる。

こうした状況のなか、10世紀になると、中央政府は従来の地方支配のやり方を転換し、国司の権限も大きくなっていった。ちょうどそのころには、日本が手本とした中国などでも大きな変化が起こっており、(c)東アジア諸国は変動の時期に入っていた。

問 下線部(c)に関し述べた次の文 X・Y と、それに該当する国名 a・d の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 日本の律令国家のモデルとなったこの国は、10世紀初めに滅亡した。

Y 奈良時代以来、日本と親交のあった北東アジアのこの国は、10世紀前半に遼(契丹)によって滅ぼされた。

- a 唐 b 宋 c 渤海 d 百濟
- ① X-a Y-c ② X-a Y-d ③ X-b Y-c ④ X-b Y-d

正解→①。日本の律令国家のモデルは唐。渤海は926年、契丹によって滅ぼされた。

NO71 9世紀の政治・文化 2015 追試

9世紀の政治・文化について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 藤原北家が、天皇家との姻戚関係を築いて勢力を強めた。
- ② 貴族子弟の教育のため、勸学院など大学別曹が建てられた。
- ③ 国家財源を確保するため、畿内諸国に直営方式の公営田が設けられた。
- ④ 密教が盛んとなり、密教世界を絵画で表現した曼荼羅が製作された。

正解→政府は国家財源の確保のため、879年に畿内に直営方式の**官田**を置いた。公営田はそれより前の823年に、大宰府管内に置かれた直営田である。誤文→③

NO72 貴族と庶民の教育 2004 本

次の文章を読み、空欄【ア】【イ】に入る語句の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

平安時代に入ると、有力な貴族は【ア】を設け、一族の子弟を寄宿させて、勉学の便宜をはかった。大学・国学が官吏養成機関であったのに対し、【イ】が設立した綜芸種智院では、僧侶や庶民が学んだ。

- ① ア 大学別曹 イ 最澄 ② ア 芸亭 イ 最澄
- ③ ア 大学別曹 イ 空海 ④ ア 芸亭 イ 空海

正解→③

NO73 最古の仏教説話集 2001 追試

平安時代のはじめにできた『日本霊異記』は、現存している日本最古の仏教説話集である。その叙述は、法隆寺建立を發願したと伝えられる【ア】から、奈良時代の防人や、農業を営む人々の生態まで、広範囲におよんでいる。著者【イ】は、官撰の歴史書からは容易に知り得ない民衆の世界にまで目を向けた僧であった。

問 空欄【ア】【イ】に入る人物の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 崇峻天皇 イ 円仁 ② ア 聖徳太子 イ 景戒
- ③ ア 聖徳太子 イ 円仁 ④ ア 崇峻天皇 イ 景戒

正解→②

NO74 奈良時代の行政 文章正誤問題 2014 一本

問1 下線部aに関連して、奈良時代の行政に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の(1)～(4)のうちから一つ選べ。

- a 中央に大学、地方に国学が、官人の養成機関としてそれぞれ置かれた。
- b 太政官のもとに内務省などの八省が置かれて、政務を分担した。
- c 中央政府の支配は、現在の青森県や沖縄県まで広がった。
- d 地方からは、戸籍や計会帳などの公文書が政府に提出された。

- (1) a・c (2) a・d (3) b・c (4) b・d

正解→(2)

NO75 平安時代の令・日記 2004 本

武器としての日本史

Pain is inevitable Suffering is optional

平安時代になると、新たな律令の規定はなく、格や式を体系的に編纂することで法典の整備がなされた。律令自体については、その解釈を精密に行う学問が発達し、令の公式の注釈書として『ア』が作られた。一方、奈良時代以来行われていた政務の一部は儀式化した。貴族たちは先例に従って儀式を執行することを重視し、後日の覚えのために日記を書き残した。藤原実資の『イ』はその代表的なものであり、藤原道長の栄華についても記述されている。

- ① ア 経国集 イ 更科日記 ② ア 経国集 イ 小右記
- ③ ア 令義解 イ 更級日記 ④ ア 令義解 イ 小右記

正解→④令義解は公式の注釈書、小右記は藤原実資の日記

弘仁・貞観文化→平安遷都～9世紀末

唐風文化と平安仏教

平安遷都から9世紀末頃までの文化を弘仁・貞観文化という。貴族を中心に唐風の文化が発展し、国家の隆盛をめざす文章経国の思想が広まった。つまり、すぐれた漢詩をつくることは国家にとって後世に残る大事業だね。

仏教

南都仏教にかわる新国家仏教の導入。最澄・空海の唐留学。

国家仏教+貴族仏教の性格

最澄：天台宗→比叡山延暦寺 桓武天皇の庇護をうける
法華経を根本経典 大乘戒壇の設立を求める

天台宗の密教化=円仁 (後の山門派の祖)

○真言宗：空海 (弘法大師)：讃岐出身 入唐 804～806.

↳著書『三教指帰』『十住心論』他

↳儒教・仏教・道教の優越を比較した著作

↳嵯峨天皇の保護 →東寺(教王護国寺)・高野山金剛峯寺 を開く

本格的な密教を伝える(「東密」)…大日如来の真実の言葉の呪力で即身成仏

文筆家 社会事業にも功績 ex. 満濃(まんのう)池(いけ)

神仏習合の進展 仏教+神祇信仰 神前読経 八幡神信仰

本地垂迹説が唱えられはじめる

本地=仏・垂迹=神

&密教+山岳信仰→修験道の成立

※ 御霊会 はじまる

→嵯峨天皇のときに、神泉苑でおこなわれたのが最初。不慮の死をとげた者の霊=怨霊をしずめるための儀礼

美術 仏教美術

建築：密教寺院 山岳修行を重視し山中に地形に応じた伽藍配置

室生寺金堂・五重塔

仏像：密教彫刻 一木造・刃んば

勅撰漢詩集

凌雲集 (嵯峨天皇時代)

文華秀麗集 (嵯峨天皇時代)



経国集 (淳和天皇時代)

日本霊異記

景戒 著、現存する日本最古の仏教説話集である。

類聚国史

菅原道真 編纂により六国史を分類編纂したもの。道真の著作としては『菅家文草』がある。

空海の著作・空海の詩・書簡などから編まれ、空海の人となりや、9世紀の仏教を知る上で貴重な書物。 綜芸種智院 …空海の設立 庶民教育 仏教・道教も教える。

大学別曹…大学で学ぶ子弟ための施設 寄宿舍・書籍など

☆大学別曹は全て覚えないとダメ!

ex. 弘文院(和気氏)、 勸学院(藤原氏)、 学館院(橘氏)、 奨学院 (在原氏・皇族)⇒勸学院は藤原冬嗣が子弟の勉学に便宜を図るために設けた。

貴族の出世は、漢詩や中国に関する知識に左右されたのだ。従来、官僚には律令法の背景となった儒教の知識が主に要求されたが、幅広い教養が求められたこの時期、紀伝道が大学の中心科目になり、律令の研究は 明経道 である。